

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立三里小学校

校長名 小栗 剛

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	・いじめの未然防止や命の尊厳を守る取組により、自他を大切にする気持ちを育み、自己指導力を高める。 ・特別活動を中核に据え、子どもの願いや思いを大切に自己決定の場を位置付け、自己の可能性を伸ばす指導の充実を図る。	B	・自他の命を大切にできる気持ちを教師も子どもも大切に、積極的かつ組織的な生徒指導により、自己指導力を高めることができた。 ・あいさつ活動など、児童会スローガンの具現に向けて、自治的、自発的な活動が充実した。	・いじめに関わる取組を継続していった。 ・昨年度から始めた地域のゲストティーチャーの活用で学びが深まっている。人の生き方から学び、自らの願いの実現に向けて、力強く歩んでいく子どもたちを育ててほしい。	・集団または個で考える場面を意図的に位置付け、自治力を高める。 ・一人一人が願いを大切に、実態に応じた手立てを講じるなど、目標に向けて粘り強く取り組む場を位置付ける
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	・9年間を通じた子どもの育ちを実現できるよう、めざす姿を明確にし、学校運営協議会や支援推進委員会を核とした組織力の向上を図る。 ・小中9年間の学びの系統性を明らかにして各教科等の指導を行う。また、陽南中校区全体で人権教育を推進する。	B	・学校運営協議会や支援推進委員会の助言を生かし、指導改善のサイクルを確立することができた。 ・陽南中校区で連携し、人権教育を推進することができた。その他の教育活動についても、連携を図る必要がある。	・中学校区での連携を再度、確認する必要がある。 ・その上で、具体的な取組について、検討・改善する必要がある。	・検討したことやアイデアを具体的な活動として位置付ける。 ・一昨年度から、本校の授業を陽南中の教職員にも参観いただくよう案内をしてきたが、さらに他の教育活動に広げ、具体的に実効性のある取組を実施していく。
あたたかさと働きがいにあふれる学校づくり	・仕事の仕方を工夫しながら、学年職員による支え合いと、全職員による組織的な対応により、風通しとやりがいのある職場環境を構築する。 ・タブレット端末を用いた効率的な情報共有と、事実を基にした迅速かつ丁寧で組織的な指導を推進する。	B	・日常的な声かけと価値付けを大切に、一人一人のよさを生かして教育活動を行うことができた。 ・Teamsに各種チャネルを作成し、打ち合わせだけでなく平生から情報共有を図ることが定着し、共通理解の下で指導にあたることができた。	・教師が笑顔で子どもたちに接し、指導する姿が素晴らしい。	・限られた時間でいかに業務を遂行するか、仕事の仕方を工夫する。また、互いのよさを認め合う風土を醸成する。 ・各分掌から多様な情報を提供することで、自己研鑽の機会を設ける。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	・命を守る訓練やDIGやなど、意図に応じて体験的な学びを実施することで、実際に起きうる状況を想定し、自分の命を自分で守る力を高める。 ・具体的な事例を取り上げた職員研修を適宜実施することで、正しい知識や判断力を身に付け、危機管理能力を高める。	B	・学校安全の3領域すべてにおいて、職員研修と各種訓練を実施し、教師も子どもも命を守り抜く力を高めることができた。 ・教員ミニ研修を実施したり、Teamsで多様な事案を紹介したりすることで、危機管理能力の向上に努めた。	・大切な命を自分で守り、互いに尊重し合いながら生活できるように、今後も各種訓練を継続し、安心・安全な学校生活を送れるようにする必要がある。	・引き続き、職員研修と各種訓練を計画的に位置付け、研修の目的を明確にして行う。 ・日常的な取組を推進するため、教師の違和感を大切に、共有して議論することで、安心・安全な学校運営に努める。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	・安全で安心して学ぶことができる教育環境をめざして、配当予算を意図的、計画的に活用したり、安全点検による確実な見届けを行ったりする。 ・ペーパーレス化が目的化せず、適切かつ有効な財務運用のもと、学校教育目標の具現に必要な整備を確実に行う。	B	・必要な物は何かを精査し、教育環境を整えることができた。また、一人一人が責任をもち、さらに複数で見届けることで、適切な事務処理ができた。 ・タブレット端末を子どもの学びや教師の指導におけるマストアイテムとして、必要な場面を選択し活用することができた。	・スマート連絡帳の活用により、確実に保護者への連絡ができるようになった一方で、紙面で配付した方がよい文書もある。 ・タブレット端末の使い方について、家庭との協力してルールづくりを進める必要がある。	・事務職員や校務員など、職員の多様な意見を大切に、安全で安心して学ぶことができる教育環境づくりに努める。 ・タブレット端末の活用方法をさらに検討し実践につなげるなど、整備されたものを効果的に使い教育活動の充実に努める。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/misato-e/>